

「調査票」（単純集計つき）

# 令和元年度県政アンケート調査

## ご記入にあたってのお願い

- 封筒の宛名となっている方、ご本人がご回答ください。  
(ただし、ご本人が長期不在などでご回答になれない場合は、ご家族の方などが代わってお答えください。)
- この調査は無記名式です。お名前、ご住所をご記入いただく必要はありません。
- 黒か青のボールペン、またはえんぴつで調査票に直接ご記入ください。
- ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。また、設問によってご回答していただく方が限られる場合がありますので、設問をよくお読みいただき、ご回答ください。
- 「その他」を選ばれた場合は、( ) 内に簡潔に具体的内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、9月6日（金）までにご返送ください。

## ● 調査結果の公表予定について

公表時期は1月頃を予定しております

### ① 県ホームページに掲載

<http://www.pref.yamagata.jp/>

### ② 県・総合支庁の窓口に備え付け

## ● 調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします

山形県 企画振興部 企画調整課

担 当：企画担当／沼沢、浅沼

電 話：023-630-3401（直通）

023-630-2211（代表、内線 3401）

F A X：023-624-2775

**最初に、あなたご自身のことについて、おうかがいします。**

(性別や年齢による分類等、統計的に分析するためです。)

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

(N=2,741)

(48.3%) 1. 男性 (51.4%) 2. 女性

F 2 あなたのお年は、満でおいくつですか。(○は1つ)

(N=2,741)

(8.5%) 1. 18～29歳 (15.1%) 3. 40～49歳 (12.4%) 5. 60～64歳  
(9.8%) 2. 30～39歳 (23.5%) 4. 50～59歳 (30.6%) 6. 65歳以上

F 3 あなたのお仕事は何ですか。(○は1つ)

(N=2,741)

(13.0%) 1. 自営業  
(5.4%) 2. 会社経営者、役員  
(32.3%) 3. 常用雇用者<sup>※1</sup>  
(13.7%) 4. 臨時雇用者<sup>※2</sup> (パート・アルバイトなど)  
(4.5%) 5. 公務員  
(8.9%) 6. 専業主婦 (主夫)  
(16.3%) 7. 無職  
(1.9%) 8. 学生  
(1.8%) 9. その他 ( )

**《1～4を選んだ方へおうかがいします》**  
職業の分野は何ですか。(○は1つ)

(8.9%) 1. 農林水産業 (N=1,764)  
(9.0%) 2. 建築・土木業  
(19.8%) 3. 製造業  
(38.7%) 4. 商業・サービス業  
(18.1%) 5. その他 ( )

※1：期間を定めずに又は1年を超える期間を定めて雇われている人

※2：日々又は1年以内の期間を定めて雇われている人

F 4 あなたは結婚していらっしゃいますか。(○は1つ)

(N=2,741)

(18.6%) 1. 未婚 (69.1%) 2. 既婚 (11.7%) 3. 離婚・死別

F 5 いま一緒に暮らしているご家族を教えてください。(○はいくつでも)

(N=2,741)

(9.8%) 1. 乳幼児 (8.6%) 4. 高校生 (1.3%) 7. 専門学校生  
(13.8%) 2. 小学生 (2.3%) 5. 大学生 (57.5%) 8. 65歳以上の高齢者  
(8.8%) 3. 中学生 (0.1%) 6. 大学院生 (22.9%) 9. 該当者はいない

F 6 あなたは、どなたと同居されていますか。(○はいくつでも)

(N=2,741)

(66.3%) 1. 配偶者 (9.0%) 4. 孫 (8.4%) 7. 一人暮らし  
(44.8%) 2. 子ども (8.8%) 5. 祖父・祖母 (1.2%) 8. その他 ( )  
(38.5%) 3. 親 (6.2%) 6. 兄弟・姉妹

F 7 あなたのお住まいは次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

(N=2,741)

(71.9%) 1. 住宅地域 (2.8%) 2. 商業地域 (15.9%) 3. 農漁村地域 (8.6%) 4. 山間地域

お住まいの市町村名をお書きください

**「健康」について、おうかがいします。**

問1 あなたは、「かかりつけ医」をお持ちですか。(○は1つ) (N=2,741)

- (57.5%) 1. 「かかりつけ医 (診療所・医院)」がある  
(18.6%) 2. 「かかりつけ医 (病院)」がある  
(23.3%) 3. ない

**【問1で「3. ない」に○をつけた方にうかがいます。】**

-> 問2 あなたは、病気になったときどのような医療機関に行きますか。(○は1つ) (N= 638)

- (47.6%) 1. 診療所・医院に行くことが多い (18.2%) 4. 医療機関にはほとんど行かない  
(26.0%) 2. 地元の病院に行くことが多い (0.5%) 5. その他 ( )  
(7.7%) 3. 規模の大きい総合病院に行くことが多い

**【すべての方にうかがいます。】**

問3 あなたは、「かかりつけ歯科医」をお持ちですか。(○は1つ) (N=2,741)

- (31.7%) 1. 定期的 (1年に複数回) に健診に行く「かかりつけ歯科医」がある  
(8.8%) 2. 定期的 (1年に1回程度) に健診に行く「かかりつけ歯科医」がある  
(41.4%) 3. 歯が痛くなったとき等に行く「かかりつけ歯科医」がある  
(17.6%) 4. ない

(N=2,741)

問4 あなたが取り組んだ運動 (散歩などの軽運動を含む) の頻度を教えてください。(○は1つ)

- (20.0%) 1. 週に3日以上 (3.3%) 4. 3ヵ月に1~2日 (3.8%) 7. わからない  
(19.5%) 2. 週に1~2日 (4.2%) 5. 年に1~3日 (2.1%) 8. その他 ( )  
(11.1%) 3. 月に1~3日 (34.5%) 6. 実施しなかった

**【問4で「1~5」に○をつけた方にうかがいます。】**

-> 問5 あなたが取り組んだ運動への参加の仕方を教えてください。(○はいくつでも) (N=1,592)

- (10.9%) 1. 町内会や市町村が実施している健康づくり事業に参加している  
(12.6%) 2. 民間のスポーツクラブに参加している  
(3.1%) 3. 総合型地域スポーツクラブに参加している (※)  
(20.2%) 4. 家族や仲間と自主的に取り組んでいる  
(3.0%) 5. 会社のレクリエーション活動に参加している  
(58.5%) 6. 一人で取り組んでいる  
(8.2%) 7. その他 ( )

※「総合型地域スポーツクラブ」とは、子どもから大人まで、また、高齢者の方や障がいをもった方を含めすべての人が、それぞれのライフステージにおいて、地域の日常的なスポーツ (文化的活動含む) 活動の場として、地域住民自らが主体となって運営するクラブのこと。

**【 すべての方にうかがいます。 】**

問6 毎日の食事の栄養摂取など、健康づくりのためにあなたが食生活などで気を付けていることについて、教えてください。(〇はいくつでも) (N=2,741)

- |  |
|--|
| (54.4%) 1. 塩分の取り過ぎについて注意している (1.3%) 6. 会社の健康教室に参加している  |
| (49.4%) 2. 緑黄色野菜の摂取を心掛けている (35.2%) 7. 過労に注意し、十分な睡眠、休養を |
| (39.3%) 3. 欠食しないなど定期的な食事を心がけている 取っている                  |
| (43.1%) 4. 暴飲暴食に気を付けている (4.1%) 8. その他 ( )              |
| (13.2%) 5. 禁煙した(したい)                                   |

問7 「人生100年時代の到来」とも言われるほど寿命が延びてきていますが、今後、ご自身の健康を維持するために必要だと感じていることはなんですか。(〇はいくつでも) (N=2,741)

- |   |
|---|
| (65.5%) 1. 年齢に応じた適度な運動 (24.0%) 5. がんや認知症などの基礎的な知識 |
| (46.6%) 2. 減塩など食生活の改善 (2.8%) 6. その他 ( )           |
| (64.6%) 3. 健(検)診受診による早期発見・早期治療                    |
| (55.8%) 4. 十分な休養とこころの健康                           |

**「防災」について、おうかがいします。**

問8 九州北部豪雨被害(2017年7月)をはじめ、北陸地方等における大雪被害(2018年1月)や西日本豪雨被害(2018年7月)、山形県沖を震源とする地震(2019年6月)など、近年我が国において、大規模な自然災害が頻発し甚大な被害が発生しております。こうした状況を踏まえ、ご自身の防災に関する意識に変化はありましたか。(〇は1つ) (N=2,741)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| (17.5%) 1. 非常に高まった (0.1%) 4. 低下した     |
| (56.5%) 2. ある程度高まった (0.8%) 5. その他 ( ) |
| (24.3%) 3. 変わらない                      |

問9 住宅の耐震化や家具の転倒防止対策、食料の備蓄、避難所の確認、家族による防災に関する情報の共有など、ご家庭において防災対策にどのように取り組んでいますか。(〇は1つ) (N=2,741)

- |  |
|--|
| (2.9%) 1. 積極的に取り組んでいる (2.6%) 4. 必要性がないので取り組んでいない |
| (27.1%) 2. 一定程度取り組んでいる (0.3%) 5. その他 ( )         |
| (66.6%) 3. 必要性は認識しているものの、具体的な取組みは実施していない         |

問10 避難勧告等が発令された場合、あなたが行動するものとして最も近いものを選択してください。(〇は3つまで) (N=2,741)

- |   |
|---|
| (29.3%) 1. 自宅待機 (15.7%) 6. 外に出て被害状況を確認                  |
| (63.2%) 2. TV等で被災状況の収集 (13.4%) 7. 隣近所同士で集まり、避難するかどうかを相談 |
| (50.2%) 3. 外出中の家族へ連絡 (31.1%) 8. 避難所・避難場所などほかの安全な場所に避難   |
| (42.6%) 4. 避難準備の開始 (1.3%) 9. その他 ( )                    |
| (10.3%) 5. 電話等で役場や知り合い等に被災状況を確認                         |

問 11 今後、どのような災害情報発信手段が充実すれば、今よりも情報が得やすくなると思いますか。

(○はいくつでも)

(N=2,741)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| (44.0%) 1. 防災行政無線    | ( 5.8%) 5. ホームページによる周知 |
| (49.1%) 2. メール配信     | (59.5%) 6. テレビ放送       |
| (24.7%) 3. SNS配信     | ( 2.9%) 7. その他 (       |
| (52.6%) 4. Lアラート (※) | )                      |

※「Lアラート」とは、災害発生時に、地方公共団体・ライフライン事業者等が、放送局・アプリ事業者等の多様なメディアを通じて地域住民等に対して必要な情報を迅速かつ効率的に伝達する共通基盤。

問 12 町内会や自主防災組織、消防団等が実施する各種防災訓練や、行政等が実施する防災に関する説明会、セミナーなど、地域の防災活動にどの程度参加していますか。(○は1つ)

(N=2,741)

- |   |
|---|
| ( 6.8%) 1. 積極的に参加している                               |
| (26.0%) 2. ある程度参加している                               |
| (28.6%) 3. 参加してみたいとは考えているが、参加したことはない                |
| (25.3%) 4. 防災活動に関する情報がなく、いつ行われているかわからないため、参加したことがない |
| ( 9.7%) 5. 特に参加する必要がないと考えているため、参加したことがない            |
| ( 2.6%) 6. その他 (                                    |

問 13 自主防災組織等への活動に参加するにあたり、障害になっていると感じることは何ですか。

(○はいくつでも)

(N=2,741)

- |                                   |                                 |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| (42.2%) 1. 時間がない・忙しい              | (10.6%) 6. 高齢者の参加が多く、若者は参加しづらい  |
| ( 6.4%) 2. 地域との関わりをもつことに<br>関心がない | (30.0%) 7. 気軽に参加できる防災活動の取組みが少ない |
| ( 8.8%) 3. どこに相談すべきかわからない         | ( 7.3%) 8. 行政の支援体制が整っていない       |
| (23.6%) 4. 取り組むための情報がない・得にくい      | (15.5%) 9. 特にない                 |
| (13.5%) 5. 地域コミュニティの活動が少ない        | ( 3.2%) 10. その他 (               |

## 「キャッシュレス決済」について、おうかがいします。

問 14 日常生活の買い物において、あなたは、キャッシュレス決済 (※) に対応している店舗だった時、キャッシュレス決済を利用していますか。(○は1つ)

(N=2,741)

- |                   |                    |                  |
|-------------------|--------------------|------------------|
| (47.5%) 1. 利用している | (52.1%) 2. 利用していない | ----->【 問 18 へ 】 |
|-------------------|--------------------|------------------|

※「キャッシュレス決済」とは、電子マネーやクレジットカードを利用して、現金（キャッシュ）を使わずに支払いをすること。

(N=1,301)

**【 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。 】**

-> 問 15 あなたは、キャッシュレス決済をどのような理由から利用していますか。(○はいくつでも)

- |                               |                                       |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| (76.6%) 1. ポイント還元や割引サービスがあるから | (18.0%) 4. 利用履歴が確認できるから               |
| (59.1%) 2. レジの会計がスムーズだから      | (34.7%) 5. (クレジットカードの場合) 後払い<br>できるから |
| (12.8%) 3. ATMからの出金が面倒だから     | ( 3.6%) 6. その他 (                      |

問 16 あなたが利用しているキャッシュレス決済の種類をお答えください。(〇はいくつでも) (N=1,301)

- |  |   |
|--|---|
| (77.6%) 1. クレジットカード                    | (55.6%) 4. 流通系 ICカード (WAON, nanaco など)  |
| ( 4.8%) 2. デビットカード (※)                 | (14.1%) 5. QRコード決済 (LINEPay, PayPay など) |
| (26.4%) 3. 交通系 ICカード (Suica, PASMO など) | ( 2.4%) 6. その他 ( )                      |

※「デビットカード」とは、カードでの支払いと同時にご自身の銀行口座から引き落としがされる仕組みのカードのこと。

問 17 あなたが日頃キャッシュレス決済を利用している場所、また、今後利用できたら便利だと思う場所はどのようなところですか。(〇はいくつでも)

【 日頃利用している場所 】

(N=1,301)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| (41.0%) 1. 飲食店          | (10.5%) 9. お土産屋さん      |
| (20.4%) 2. 病院・歯科・クリニック  | (11.5%) 10. 薬局         |
| (10.8%) 3. 公共施設の利用料     | (53.6%) 11. ドラッグストア    |
| ( 8.5%) 4. 地元商店街        | (66.3%) 12. スーパーマーケット  |
| (60.0%) 5. コンビニエンスストア   | ( 1.9%) 13. 友人・知人との割り勘 |
| ( 6.6%) 6. タクシー         | ( 4.6%) 14. 特にない       |
| (12.2%) 7. 美・理容室        | ( 8.1%) 15. その他 ( )    |
| ( 7.6%) 8. 各種施設の入場料・入園料 |                        |

【 利用出来たら便利だと思う場所 】

(N=1,301)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| (20.3%) 1. 飲食店          | (11.8%) 9. お土産屋さん      |
| (43.9%) 2. 病院・歯科・クリニック  | (15.5%) 10. 薬局         |
| (21.4%) 3. 公共施設の利用料     | (12.7%) 11. ドラッグストア    |
| (14.9%) 4. 地元商店街        | (16.1%) 12. スーパーマーケット  |
| (13.8%) 5. コンビニエンスストア   | ( 5.9%) 13. 友人・知人との割り勘 |
| (15.4%) 6. タクシー         | (20.9%) 14. 特にない       |
| (21.8%) 7. 美・理容室        | ( 2.6%) 15. その他 ( )    |
| (19.8%) 8. 各種施設の入場料・入園料 |                        |

【 問 14 で「2. 利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。 】

問 18 あなたがキャッシュレス決済を利用していない、または利用したくない理由をお答えください。

(〇はいくつでも)

(N=1,429)

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| (86.1%) 1. 現金払いで不便を感じていないから         |  |
| ( 8.3%) 2. キャッシュレス決済が可能な店舗や環境が少ないから |  |
| (28.3%) 3. キャッシュレス決済のやり方がわからないから    |  |
| (45.8%) 4. 情報漏洩やセキュリティ面で不安があるから     |  |
| ( 5.3%) 5. その他 ( )                  |  |

(N=1,429)

問 19 周辺環境がどのように変化していけば、あなたも利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| (14.5%) 1. キャッシュレス決済に対応する店舗が増えたら          |  |
| (31.6%) 2. 一つのキャッシュレスツールでどこでも簡単に利用可能になったら |  |
| (23.7%) 3. 現金払いよりお得なポイント還元等のキャンペーンが充実したら  |  |
| (57.0%) 4. 現金が使える限りキャッシュレス決済は使わない         |  |
| ( 5.0%) 5. その他 ( )                        |  |

「県内の家族旅行」について、おうかがいします。

問 20 あなたは直近 1 年間で、県内の家族旅行（宿泊及び日帰り）に行きましたか。また、行った方はその回数とそれぞれ行った地方も教えてください。なお、ここでいう家族旅行とは、単身、夫婦で行った旅行を含みます。（○は1つ） (N=2,741)

(41.2%) 1. 行った

(57.5%) 2. 行かなかった

----->【 問 22 へ 】

-->【 行った回数とそれぞれ行った地方の宿泊数と回数 】

	おおよそ <N=473>	【 内 訳 】			
		村山地方<38.9%>	最上地方<11.8%>	置賜地方<16.9%>	庄内地方<50.7%>
宿泊を伴う	[N=1,130]	(N=184)	(N= 56)	(N= 80)	(N=240)
家族旅行					
(※ 1)					
1回/泊	[25.8%]	(72.8%)	(78.6%)	(76.3%)	(80.8%)
2回/泊	[ 9.7%]	(20.1%)	(12.5%)	(16.3%)	(12.9%)
3回/泊	[ 3.6%]	( 4.9%)	( 8.9%)	( 7.5%)	( 5.8%)
4回/泊	[ 1.6%]	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.4%)
5回/泊以上	[ 1.2%]	( 2.2%)	( 0.0%)	( 0.0%)	(0.0%)
日帰りの	<N=914>	村山地方<57.7%>	最上地方<26.7%>	置賜地方<39.7%>	庄内地方<61.7%>
家族旅行	[N=1,130]	(N=527)	(N=244)	(N=363)	(N=564)
(※ 2)					
1回	[18.6%]	(45.5%)	(71.7%)	(62.3%)	(49.6%)
2回	[17.3%]	(17.1%)	(17.6%)	(19.6%)	(24.3%)
3回	[12.3%]	(16.3%)	( 4.1%)	( 8.0%)	(11.5%)
4回	[ 7.1%]	( 2.5%)	( 1.2%)	( 3.3%)	( 2.1%)
5回以上	[25.7%]	(18.6%)	( 5.3%)	( 6.9%)	(12.4%)

※ 1 1回の旅行で複数地方に宿泊した場合、回数は1回とし、宿泊数をそれぞれ記載してください。

※ 2 1回の旅行で複数地方を旅行した場合、回数は1回とし、内訳をそれぞれ記載してください。

【 問 20 で、県内の家族旅行に「1. 行った」に○をつけた方にうかがいます。 】

問 21 旅行の目的は何でしたか。（○はいくつでも）

(N=1,130)

- (43.2%) 1. 自然や街並みなどの景観を楽しむこと
- (22.4%) 2. 出羽三山や山寺などの寺社仏閣を訪れ、精神文化に触れること
- ( 7.9%) 3. 鳥海山等の山岳を訪れたり、トレッキングで自然を感じたりすること
- (13.0%) 4. 美術館や博物館で地域の文化や歴史、生活を知ること
- ( 4.9%) 5. モンテディオ山形、パスラボ山形、楽天などスポーツ観戦をすること
- ( 1.6%) 6. マラソン大会などスポーツ大会に自ら参加すること
- ( 1.9%) 7. 地域の伝統産業やものづくりを体験すること
- ( 1.2%) 8. 最先端の技術や産業を学んだり、体験したりすること
- (20.1%) 9. 遊園地、海水浴、スキーなどのレジャーを楽しむこと
- (51.5%) 10. 温泉などでのんびりすること
- (11.8%) 11. お祭りに参加したり見に行ったりすること
- (49.5%) 12. 地元のおいしいものを味わうこと
- (34.0%) 13. みやげ物を買いたいこと（産直施設、道の駅なども含む）
- ( 6.5%) 14. 県内ワイナリーや酒蔵を訪ねること
- ( 7.7%) 15. その他（ )
- ( 3.7%) 16. 特に目的はない

**【 すべての方にかがいます。 】**

問 22 県内の家族旅行を増やすために、必要だと思うことを教えてください。(○は3つまで) (N=2,741)

- (36.5%) 1. 仕事で休暇が取れないため、休暇を取りやすい職場の環境づくりをすること
- (34.7%) 2. 各種割引特典を拡充させること
- (15.2%) 3. 旅行商品を充実させること
- (24.1%) 4. バスや電車などの公共交通機関を充実させること
- (19.4%) 5. 道の駅等の施設を充実させること
- ( 8.9%) 6. 健康上の都合や介助しなければならない家族がいるため、観光地や宿泊施設をバリアフリー化すること
- ( 9.7%) 7. ペットと旅行できる宿泊施設を充実させること
- (18.0%) 8. 県内観光地を良く知らないのので、観光パンフレットやホームページを充実させること
- ( 7.7%) 9. 家族旅行に興味がない
- ( 8.1%) 10. その他 ( )

**「美術館や博物館」について、おうかがいします。**

問 23 あなたは、直近1年間で、県内の美術館や博物館に行きましたか。また、行った方はその回数と行った地方も教えて下さい。(○は1つ) (N=2,741)

- (20.8%) 1. 行った (76.8%) 2. 行かなかった -----> 【 問 24 へ 】

-> 【 行った回数とそれぞれ行った地方の回数 】

		おおよそ <N=569>	【 内 訳 】			
			村山地方<58.2%>	最上地方< 4.2%>	置賜地方<17.2%>	庄内地方<38.0%>
美術館や 博物館に 行った回数		[N=571]	(N=331)	(N= 24)	(N= 98)	(N=216)
	1回	[52.2%]	(60.7%)	(83.3%)	(85.7%)	(55.6%)
	2回	[23.8%]	(23.9%)	( 8.3%)	( 8.2%)	(24.1%)
	3回	[12.4%]	( 8.2%)	( 8.3%)	( 2.0%)	(12.5%)
	4回	[ 3.9%]	( 3.9%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 2.8%)
	5回以上	[ 7.4%]	( 3.3%)	( 0.0%)	( 4.1%)	( 5.1%)

**【 すべての方にかがいます。 】**

問 24 あなたは美術館や博物館の訪問回数を増やしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを下記よりお選びください。(○は3つまで) (N=2,741)

- (45.9%) 1. 美術館や博物館の展示物や企画を充実させること
- (26.3%) 2. 美術館や博物館の入館料を下げる
- ( 9.7%) 3. 美術館や博物館の開館日を増やしたり、開館時間を長くしたりすること
- (17.4%) 4. 美術館や博物館周辺の観光地や温泉地を含めたツアーの充実
- ( 9.7%) 5. 美術館や博物館への公共交通機関等移動手段の充実
- (33.3%) 6. 美術館や博物館を知るための各種広報活動の充実
- ( 4.6%) 7. 美術館や博物館周辺の商店街等で特典が得られる制度の充実
- (10.1%) 8. 美術館や博物館を訪れるための、休暇等の余暇の拡充
- (21.1%) 9. 美術館や博物館は興味がないため、訪れない
- ( 5.4%) 10. その他 (具体的に :



「環境問題」について、おうかがいします。

問 25 マイクロプラスチックの海洋生態系への影響や、諸外国による廃プラスチック類の輸入禁止措置など、プラスチックごみを巡る問題について、国際的に関心が高まっています。政府においても、レジ袋有料義務化の考えを表明しています。県内のスーパーでは既にレジ袋の有料化が進んでいますが、レジ袋について、あなたの日常の行動に最も近いものはどれですか。(○は1つ) (N=2,741)

- (43.3%) 1. 日頃からマイバッグを持参し、レジ袋は使わないようにしている
- (40.2%) 2. レジ袋が有料のスーパーではマイバッグを使うが、レジ袋が無料のドラッグストアやコンビニではレジ袋を使っている
- (8.4%) 3. マイバッグを持参する習慣がなく、スーパーでは無料でもらえる段ボール箱等を、レジ袋が無料のドラッグストアやコンビニではレジ袋を使っている
- ( 5.4%) 4. マイバッグを持参する習慣がなく、いつも有料のレジ袋を購入している
- ( 1.1%) 5. その他 ( )

【 問 25 で「4. マイバッグを持参する習慣がなく、いつも有料のレジ袋を購入している」に○をつけた方にうかがいます。 】

➤ 問 26 有料でもレジ袋を使う理由をお答えください。(○は1つ) (N=148)

- (18.2%) 1. 買い物のたびにマイバッグを持参するのが面倒だから
- (18.2%) 2. そもそもマイバッグを持っておらず、買い物時に袋が必要だから
- (35.8%) 3. レジ袋をその後も再利用したいから
- (14.2%) 4. 安価なので負担感がなく気軽に買えるから
- ( 4.7%) 5. 特に理由はない
- ( 6.1%) 6. その他 ( )

【 すべての方にうかがいます。 】

問 27 プラスチックごみ削減に向けた取組みとして、飲食店がプラスチックストローの使用を廃止したり、公的機関が会議でのペットボトル飲料の配布を取りやめたりするなどの動きも出ています。ペットボトルについて、あなたの日常の行動に最も近いものはどれですか。(○は1つ) (N=2,741)

- ( 4.8%) 1. ペットボトル飲料はなるべく買わないように心掛けている
- (63.1%) 2. 飲んだ後のペットボトルは、市町村の分別ルールに従って資源ごみとして出している
- (20.6%) 3. 飲んだ後のペットボトルは、スーパー等の店頭回収に出している
- ( 1.7%) 4. 飲んだ後のペットボトルは、洗ったり分別したりせずに可燃ごみなどとして出している
- ( 6.4%) 5. 飲んだ後のペットボトルは自販機、コンビニ、ガソリンスタンドなどに備え付けのごみ箱に捨てている
- ( 0.7%) 6. その他 ( )

問 28 我が国ではまだ食べることができるのに廃棄される食品ロスが大量に発生しています。食品ロスは資源の大きな無駄となるだけでなく、焼却等に伴う環境への影響や処理コストが問題となっており、削減していく必要があります。食品ロスの4～5割は家庭から出るとされていることから、各家庭での取組みが求められていますが、次のうち、あなたが日頃から行っていることをお答えください。

(○はいくつでも)

(N=2,741)

- (48.3%) 1. 食材の冷蔵庫等での保管量を把握したうえで買い物をしている
- (43.3%) 2. 買い物は食べきれる量にとどめ、当面使う予定量以上の食材は買わないようにしている
- (57.0%) 3. 食べ残しを極力減らしたり、買った食材は使い切るようにしている
- (16.3%) 4. 野菜の皮などの食べられる部位は、なるべく無駄なく使うようにしている
- (57.2%) 5. 直ちに使い切れない食材は、冷凍などの傷みにくい方法で保存する
- (41.6%) 6. 保管している食品の消費期限・賞味期限を確認している
- ( 1.0%) 7. 使用予定のない食材は、賞味期限が切れる前に、フードバンクに提供している
- (44.4%) 8. 賞味期限が切れた食材でも、食べられるかを確認している
- ( 4.1%) 9. 特に行っていない
- ( 1.3%) 10. その他 ( )

【 問 28 で「9. 特に行っていない」に○をつけた方にうかがいます。 】

→ 問 29 食品ロスを削減するための取組みを行っていない理由をお答えください。(○はいくつでも) (N=113)

- ( 8.0%) 1. 食品の管理等に気を使ったり手間をかけたりすることが面倒だから
- (74.3%) 2. 食品の管理等に関しては家族等に任せているから
- (15.9%) 3. 身の回りでもともと食品ロスが発生していないから
- ( 7.1%) 4. 食品ロスの問題に関心がないから
- ( 1.8%) 5. その他 ( )

【 すべての方にうかがいます。 】

問 30 私たちが日々の暮らしの中で排出している二酸化炭素などの温室効果ガスにより、地球の平均気温が上昇しています。この地球温暖化に伴う気候変動により、今後も集中豪雨や干ばつといった極端な気象現象が増えることが懸念されており、私たちの生活に様々な影響が及ぶことが心配されています。気候変動の影響への対応として、県はどのようなことに重点的に取り組むべきだと思いますか。

(○は3つまで)

(N=2,741)

- (34.1%) 1. 農林水産分野 (高温耐性品種の開発、海水温上昇による水産資源への影響に対する対応など)
- (32.8%) 2. 水環境・水資源分野 (湧水対策、水温上昇による水質悪化への対応など)
- (26.2%) 3. 自然生態系分野 (病害虫の北上による森林被害や野生鳥獣の分布域の変化への対応など)
- (51.7%) 4. 自然災害・沿岸域分野 (大雨による洪水や沿岸域での台風・高潮による浸水への対応など)
- (22.0%) 5. 健康分野 (熱中症対策やデング熱などの感染症対策など)
- ( 9.1%) 6. 産業・経済分野 (平均気温上昇による積雪深の減少による観光業への影響に対する対応など)
- (61.9%) 7. 暮らしの安全・都市生活分野 (大雨や大雪などに備えた交通インフラの整備など)
- ( 2.1%) 8. その他 ( )

問 31 森林は木材生産の役割だけではなく地球温暖化防止をはじめ、水資源を蓄える働きや防災など県土を守る公益的機能を持っています。現在、県ではこうした森林の機能を維持しながら森林資源を活用し、地域活性化につなげる「やまがた森林（モリ）ノミクス（※）」という取り組みを行っていますが、あなたはこの取り組みを知っていますか。（○は1つ）

(N=2,741)

(24.2%) 1. 知っている (72.3%) 2. 知らない

※「やまがた森林（モリ）ノミクス」とは、豊かな森の資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活用し、伐採した山に再造林して「緑の循環システム」を構築することにより、林業及び関連産業の振興を図り、地域全体の活性化を図るもの。

問 32 今後、「やまがた森林（モリ）ノミクス」をより進めていくためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。（○はいくつでも）

(N=2,741)

(73.2%) 1. メディアによるPR（TV、ラジオ、インターネット、ポスター広告 等）  
 (35.8%) 2. イベントの実施（セミナー、サミット、展示会 等）  
 (15.6%) 3. 県民を対象とした出前講座の開催  
 (44.7%) 4. 学校等の森林環境学習の充実  
 (27.9%) 5. 一般の方々を対象とした下刈りや植樹等の森づくり活動  
 ( 2.7%) 6. その他（ )

**「県の情報発信」について、おうかがいします。**

問 33 あなたは、情報を得るために、次の情報媒体（メディア）について、日頃それぞれどの程度利用（読む、聴く、見る等）していますか。（○は1つ）

(N=2,741)

	週5回以上	週1～4回程度	週1回未満	利用しない
ア. 新聞	(49.2%)	( 8.8%)	( 7.3%)	(17.4%)
イ. 雑誌、書籍	( 3.9%)	(11.3%)	(29.0%)	(24.8%)
ウ. ラジオ	(20.2%)	(13.1%)	( 9.7%)	(29.6%)
エ. テレビ	(70.0%)	(10.0%)	( 2.9%)	( 1.8%)
オ. インターネット（ホームページ、ブログ等）	(29.6%)	(11.7%)	( 8.6%)	(20.5%)
カ. インターネット（メールマガジン）	(10.4%)	( 6.9%)	(10.1%)	(39.3%)
キ. インターネット（SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム等））	(17.6%)	( 6.6%)	( 6.2%)	(37.5%)
ク. インターネット（動画共有サイト、インターネットテレビ局（YouTube、AbemaTV等））	(15.9%)	( 9.9%)	( 9.4%)	(32.3%)

問 34 あなたは、県が行っている取組み（各種計画、事業、イベントなど）について、日頃何からお知りになることが多いですか。（〇はいくつでも）

(N=2,741)

- (57.1%) 1. 山形県広報誌「県民のあゆみ」
- (26.3%) 2. 県政広報テレビ番組「やまがたサンデー5」、「いき☆いき やまがた」
- (16.5%) 3. 新聞広告による広報「県庁だより」
- ( 6.6%) 4. 県政広報ラジオ番組「フレッシュインフォメーションやまがた」、「山形リビングインフォメーション」
- ( 0.8%) 5. 県公式メールマガジン「いま山形から・・・」
- ( 7.2%) 6. 県が運営するホームページや関連情報サイト
- ( 1.5%) 7. 県の携帯電話向け情報サイト
- ( 1.6%) 8. 県が運営するフェイスブックページ
- ( 1.2%) 9. 県が運営するツイッター
- ( 0.4%) 10. 県が運営するインスタグラム
- ( 0.8%) 11. 県公式動画チャンネル「やまがた Channel」
- (16.8%) 12. 県が発行するパンフレットやポスター、各種印刷物など
- (50.6%) 13. 市町村が発行する広報誌
- (25.0%) 14. 県内のタウン情報誌・雑誌
- (39.8%) 15. 新聞記事や折込チラシ
- (66.8%) 16. テレビ・ラジオのニュースや番組
- (20.2%) 17. 友人・知人・家族などからの口コミ
- ( 2.0%) 18. その他（ )

問 35 県では、様々な情報媒体をとおして広報活動を行っています。次にあげる県が利用している情報媒体の中で、今後、更に「充実してほしい」、「充実すべきだ」と思うものをお答えください。

(〇は3つまで)

(N=2,741)

- (47.6%) 1. 山形県広報誌「県民のあゆみ」
- (31.7%) 2. 県政広報テレビ番組「やまがたサンデー5」、「いき☆いき やまがた」
- (23.1%) 3. 新聞広告による広報「県庁だより」
- ( 9.0%) 4. 県政広報ラジオ番組「フレッシュインフォメーションやまがた」、「山形リビングインフォメーション」
- ( 2.6%) 5. 県公式メールマガジン「いま山形から・・・」
- (16.3%) 6. 県が運営するホームページや関連情報サイト
- (10.7%) 7. 県の携帯電話向け情報サイト
- ( 4.5%) 8. 県が運営するフェイスブックページ
- ( 5.4%) 9. 県が運営するツイッター
- ( 4.9%) 10. 県が運営するインスタグラム
- ( 3.8%) 11. 県公式動画チャンネル「やまがた Channel」
- (31.5%) 12. 県が発行するパンフレットやポスター、各種印刷物など

**これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。**

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて**9月6日（金）**までにご返送ください。